

研究課題名	肝癌薬物療法のリアルワールドデータを活用したオールジャパン研究
研究実施者	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏
研究期間	承認日 ～ 2025年12月
対象者	2015年4月から2025年12月の間に、広島大学病院消化器・代謝内科で肝癌に対する薬物療法を受けられた患者。
意義・目的	本研究では、日本における肝がん薬物療法の実際の使用状況のデータを集積します。大規模データの解析により、最適な治療順を評価することを目的とします。また、治療コストに関するデータも収集し、医療経済的な側面からも各治療を評価することを目的とします。
方法	この研究は、国立国際医療研究センター倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。 NCD参加施設において2015年4月1日以降、当院で肝がんに対する薬物療法を受けた場合、その都度、臨床情報を収集します。
研究機関	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏 東京大学消化器内科・特任講師建石良介 慶應義塾大学経営管理研究科／健康マネジメント研究科・准教授後藤励

広島大学病院 消化器・代謝内科 相方 浩

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5190

広島大学病院 消化器・代謝内科 職名 准教授 相方 浩

既存試料・情報提供機関：広島大学